中学歴史プリント（書き取り）
戦国時代 No.18

名前

得点 ／22

1. 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた国（旧国名）はどこ？
2. 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？
3. 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？
4. 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？
5. 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武将は誰？
6. 「甲州法度之次第」を制定したことでも知られる、戦国時代の有力な大名は誰？
7. 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？
8. 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？
9. 戦国大名が、領国内での勝手な勢力拡大を防ぐために制限した行為を何という？
10. 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？
11. 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？
12. 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？
13. 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？
14. 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住まわせた場所を何という？
15. 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？
16. 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？
17. 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？
18. 江戸幕府の禁教政策などに反発し、1637年に起こった大規模な一揆を何という？
19. 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？
20. 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？
21. 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？
22. 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「戦国時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.18 戦国時代

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。	越後	□
2	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。	1582年	□
3	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。	川中島の戦い	□
4	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。	楽市・楽座	□
5	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。	羽柴秀吉	□
6	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。	武田信玄	□
7	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。	桶狭間の戦い	□
8	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。	本能寺の変	□
9	戦国大名は、分国法の中で家臣が勝手に城を建てる「築城」を厳しく制限しました。	築城	□
10	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。	イエズス会	□
11	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。	織田信長	□
12	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。	明智光秀	□
13	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍事力や支配機構を持って領内を統治しました。	戦国大名	□
14	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。	城下町	□
15	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。	朝倉氏	□
16	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。	禁教政策	□
17	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。	分国法	□
18	1637年、天草四郎を中心としたキリスト教徒や農民が、領主の支配に反抗して島原・天草一揆を起こしました。	島原・天草一揆	□
19	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。	分国法	□
20	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。	戦国時代	□
21	上杉謙信は、周囲の武将たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。	関東管領	□
22	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。	1543	□

言えなかった用語ノート